



実践報告② 企画展「マイクロアクアリウム 海の小さなモンスターを探そう」 長岡市寺泊水族博物館 小田 美郷

1 展示のねらい

本企画展は、普段なかなか目にすることのない海の中の小さな生き物たちに着目し、海の多様性への興味関心を高め、理解を深めてもらう目的で平成27年度に実施をした。とくに、食材であるちりめんじゃこに混ざっている「チリメンモンスター」

「をさがし出すことで、小さな生き物たちが支えている食物連鎖の関係について学ぶことができ、自分自身が生き物を食べている食物連鎖の一員なのだという実感を得てもらいたいと考えた。

2 実施のようす

企画展示室を使用し、解説パネルを3枚と、展示ケース（60cm水槽）内に、ちりめんじゃこ及びチリメンモンスターの見本（ニスで固めたもの）を展示した。また、チリメンモンスター以外の海の小さな生き物としてクラゲ類のポリプ及び幼生、ワレカラ類を展示した（図3-14、3-15）。



図 3-14



図 3-15



図 3-16



図 3-17

① 会期中の土・日・祝日には、午前10時30分～11時の30分間、「チリメンモンスターを探そう（対象：小学生以上）」と題した参加型のイベントを実施した（図3-16、3-17）。

イベントの流れとしては、まずちりめんじゃこ及びチリメンモンスターについて、パネルを使って解説を行い（5分程度）、その後、一人に1枚、絵具用パレットと5gのちりめんじゃこ、ピンセットを配布して、チリメンモンスターさがしを行った（選別10分、同定10分）。チリメンモンスターをさがす際には、最初にイワシを見つけてもらい、それを見分ける際の指標としてイワシ以外のものの選別を進めてもらった。選別には大阪自然環境保全協会作成のパンフレットを使用した。最後に海の中の食物連鎖、小さな生き物が支える自然についてまとめを行った（5分程度）。

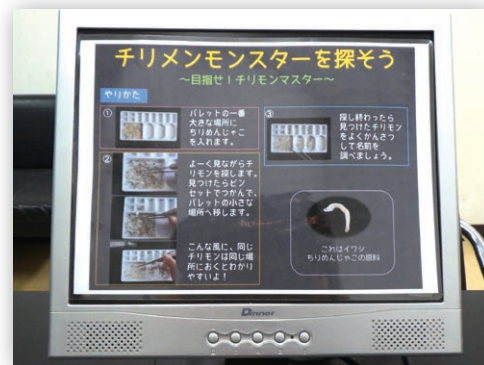


図 3-18

② 平日はイベントを行わなかったが、来館者が自由にチリメンモンスターをさがし行えるよう、体験セット（ちりめんじゃこ、絵具パレット、ピンセット、選別用パンフレット）を常時設置しておいた（図3-18）。

3 工夫点

平日のチリモンさがし体験は企画展の開始当初は行っておらず、拡大鏡による見本の観察ができるだけであった。しかし、来館者から「やってみたい」との声が多く寄せられたため、自由にチリモンさがしが行えるよう、体験セットを常時設置するようにした。また、来館者がなにを見つけたか記録できるよう、ホワイトボードを設置して日付と見つけたチリメンモンスターの種類を記入するよう指導した（図3-19）。

新潟県では、ちりめんじゃこは馴染みの薄い食材であり、来館者は「ちりめんじゃこの中から混ざり物をさがし出す」という行為にイメージがわからないようだった。しかし、寺泊漁港で撮影した選別前の魚介類の写真を見てもらって、スーパーでパック詰めされているものは人が種類ごとに分けているのだと説明をすると納得し、海にはいろいろな生き物が一緒にくらしているのだと理解してくださる人もいた。

4 展示（行事）の成果と評価

本企画展は、海にくらす小さな生き物に広く着目して開催したものだが、チリモンさがしは一番の人気となっていた。チリモンさがしは、宝さがしのような楽しさが見つかる生き物の奇抜さ、また親しみやすい名称が魅力だと感じた。イベントは親子連れでの参加が多く、子だけでなく大人も集中して楽しむ姿がよく見られた。選別や同定をしているときも、家族同士で「これってどれ？」、「タツノオトシゴいた？」、「カニのメガロバ10個目！」などと会話する姿が見られ、楽しさの中に学びがあることで、飽きずに「自分の力で最後まで遂行する」という行動につながったように思う。

また、チリモンの多くはさまざまな生き物の子どもなのだという認識を前提にすることで、海の生物の多様性に自発的

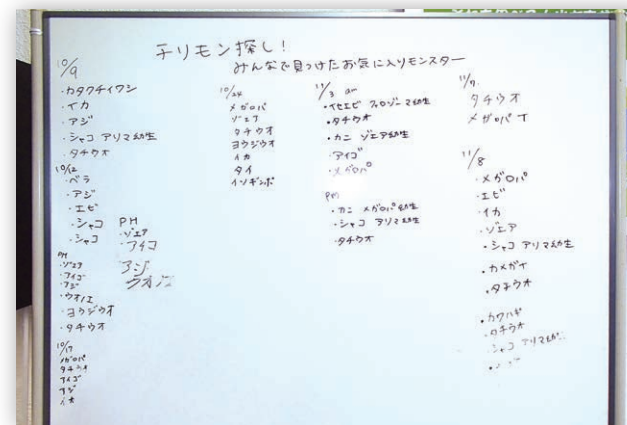
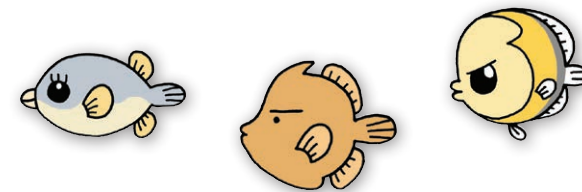


図 3-19



に気づけたのではないかなと思う。海水浴へ行ったときの海の中のようにと比べたり、家庭で食事をするときに比較したりしたという声もあり、小さな生き物が支える環境への理解は深まったと感じた。

今回の反省点は、館内の展示生物と関連づけてイベントや展示を行うことができなかったところである。チリメンモンスターの魅力である奇抜な姿形から成長して変身した大人の姿と比較したり、飼育中の生き物の稚仔魚の展示などともっとつながりを持たせたりすることも可能であったと改めて感じた部分である。またチリメンモンスターを扱う機会があれば、生体や地域の漁業の特色を活かした普及活動を行いたいと思う。

参加者の感想

- ・カニの赤ちゃんが丸くてかわかった。
- ・魚の赤ちゃんは目が大きい。
- ・太刀魚は子どものころから大人と同じ姿だったけど、カニは全然違った（ゾエア幼生と比較して）。
- ・みんな変な形をしていた。
- ・「チリメンモンスター」という言葉をはじめて知った。
- ・スーパーで売っているシラスにはこんなに混ざってない。
- ・売っている魚は大きいけど赤ちゃんはこんなに小さいのだとわかった。
- ・私たちが食べられるくらいの大きさになるまでどのくらいの時間がかかるんだろう？
- ・海の中は目に見えないけど、いろいろな生き物が生活していることがわかった。

- ・チリモンの中にはカニの赤ちゃんがたくさんいたけど、海水浴に行った時海にはこんなにカニはいなかった。どこへ行っただろう？
- ・エビは、赤ちゃんのころは泳いでいることがわかってよかった。
- ・学校の友達にも自慢したい（タツノオトシゴ）。
- ・またやってみたい！
- ・子どもの夏休みの自由研究にしたい。どこで購入できるのか？
- ・この前家でアジを食べた。こんなに小さかった赤ちゃんが頑張って大人になったのに私が食べてしまってかわいそうだった。でもおいしかった。
- ・学校の生徒たちにやらせてあげたい（市内小学校教員）。

